

区立赤塚体育館再整備基本設計・実施設計業務委託 2次審査評価書

※評価項目に対して記載がない場合には、その項目の採点を「0点」とする。

1 技術提案書で求める提案の評価

評価項目：技術提案書で求める提案に対する技術提案書の適格性、創造性、実現性

判断基準：技術提案書で求める提案について、適格性(基本方針との整合が取れているか)、創造性(魅力ある施設の提案となっているか)、実現性(論理的な裏付けがあり説得力ある提案となっているか)を考慮し、各提案について総合的に評価する。

審査項目	審査	得点(190 点満点)				
		E (最下位)	D (下位)	C (中位)	B (上位)	A (最上位)
		1点	2点	3点	4点	5点
(1) 誰でも気軽に立ち寄れる空間の整備に関する提案 【重点項目①】	①再整備する施設全体のユニバーサルデザインに係る考え方について。	点(×6)				
	②体育館棟とプール棟の館内での接続に関する方針及び技術的なアプローチ方法について	点(×6)				
(2) 地域体育館として基本的機能の強化に関する提案 【重点項目②】	①アリーナについて、面積の拡大及び観覧席設置の考え方について	点(×5)				
	②武道場及び多目的スペースの新設を含めた各階のゾーニングについて	点(×5)				
(3) すべての方が安心して来館できる環境の整備に関する提案 【重点項目③】	①駐車場の集約方法及び、解体後の地下駐車場跡地の活用方針について	点(×4)				
	②都道からのアクセス方法や、建物全体の視認性向上について	点(×4)				
(4) 工法やコストについての提案	①(1)(2)(3)を踏まえた効果的な施設の再整備について、法的要件を遵守し、労務物価上昇等の社会情勢に対応しながら、予算の範囲内で工事を完了するための方策について	点(×3)				
	②省エネルギー・環境配慮に関する方策について	点(×3)				
	③イニシャルコスト、ランニングコスト及びライフサイクルコストの縮減に関する方策について	点(×2)				
小計1		／190点				

2 選定委員評価点

審査項目	審査	得点(80 点満点)				
		E (最下位)	D (下位)	C (中位)	B (上位)	A (最上位)
		1 点	2 点	3 点	4 点	5 点
取組意欲・熱意	技術提案書及びヒアリングにより評価を行う。当該業務の実施における課題や問題点を把握しており、積極的に取り組む姿勢がうかがわれる場合に優位に評価。	点(× 4)				
業務の理解度	業務内容、業務背景、「改修基本方針」の意図等を理解しており、積極的に取り組む姿勢がうかがわれる場合に優位に評価。	点(× 4)				
業務方針及び工程計画の適格性・実現性 区内事業者の活用 提案金額	取組体制、設計チームの協力体制・業務分担体制、重視する配慮事項、設計工程計画等について（提案を求める内容を除く。）、適格性、実現性等を総合的に評価する。	点(× 4)				
	以下基準に基づき採点する。 5 点 区内に営業拠点である本社または本店がある（単独企業または共同企業体の代表構成員） 4 点 区内に営業拠点である本社または本店がある（共同企業体のその他構成員） 区内に営業拠点である支社または支店がある（共同企業体のその他構成員） 3 点 区内に営業拠点である支社または支店がある（共同企業体のその他構成員） 2 点 区内事業者からの物品・工事等の調達・発注について、具体的な記載がある。 1 点 区内事業者からの物品・工事等の調達・発注について、方針等に関する記載がある。 0 点 上記のいずれにも該当しない場合	点(× 2)				
	以下基準に基づき採点する。 5 点 契約上限金額×70～80%未満 4 点 契約上限金額×65～70%未満及び 80～85%未満 3 点 契約上限金額×60～65%未満及び 85～90%未満 2 点 契約上限金額×55～60%未満及び 90～95%未満 1 点 契約上限金額×50～55%未満及び 95～100%未満 0 点 契約上限金額×50%未満	点(× 2)				
小計 2		／80 点				
評価点	※小計 1 + 小計 2	／270 点				

※評価点が同点であった場合は、重点項目①の得点が高い事業者を上位とする。

なお、重点項目①の得点が同点であった場合、重点項目②の得点で上位を決定する。

また、重点項目②の得点が同点であった場合、重点項目③の得点で上位を決定する。